

Ⅲ 2026年 1月 大王製紙(株) 産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

1. 総括 産業廃棄物処理施設の維持管理における基準値超過はありませんでした。

2. 維持管理の状況に関する情報

	三島工場								可児工場								
	11号ホィラー			15号ホィラー			20号ホィラー		23号ホィラー			4号ホィラー					
1) 廃棄物の種類と処分量																	
(1) 産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	汚泥	木くず	燃え殻	紙くず	
(2) 処分量 (トン/月)	4,185	0	53	10,025	70	374	47	7,394	123	1,544	0	25	2,471	1,720	144	0.29	

2) 産業廃棄物処理施設での維持管理状況

(1) 燃焼ガス温度、集じん器前燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度

① 燃焼ガス温度 (°C)	934	952	874	883	903
(維持管理基準) (°C)	(800以上)	(800以上)	(800以上)	(800以上)	(800以上)
② 集じん器前燃焼ガス温度 (°C)	193	201	193	196	190
(維持管理基準) (°C)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)
③ 排ガス中の一酸化炭素濃度 (ppm)	63	60	47	10	16
(維持管理基準) (ppm)	(100以下)	(100以下)	(100以下)	(100以下)	(100以下)
④ 排ガスを採取した位置	別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
⑤ 測定結果が得られた日	2026年2月1日	2026年2月1日	2026年2月1日	2026年2月1日	2026年2月1日

* 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集じん器に流入する燃焼ガスの温度、排ガス中の一酸化炭素の濃度は、全て連続測定しており、記載している数値は、月間平均値です。
 なお、連続測定のトレンドグラフは、三島工場及び可児工場でご覧可能です。

(2) 排ガス中のダイオキシン類濃度

① ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m ³ N)	0	0.00007	0.081	0.017	0.0000033
(排出基準) (ng-TEQ/m ³ N)	(0.1以下)	(0.1以下)	(0.1以下)	(0.1以下)	(0.1以下)
② 排ガスの採取日	2025年7月7日	2025年10月20日	2025年7月18日	2025年8月8日	2025年12月1日
③ 排ガスを採取した位置	別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
④ 測定結果が得られた日	2025年8月8日	2025年12月17日	2025年8月27日	2025年9月10日	2026年1月16日

* ダイオキシン類濃度は、最新のデータです。採取日から測定結果が得られる日まで、約1ヶ月かかります。

(3) ばいじん除去の実施年月日

① 冷却設備	2025年 6月 1日 ～ 6月10日	2025年 9月 20日 ～ 10月 5日	2025年 10月 18日 ～ 10月 23日	2025年 7月22日 ～ 8月 2日	2025年11月10日～11月14日
② 集じん器	〔電気集じん機 連続除去〕	〔電気集じん機 連続除去〕	〔電気集じん機 連続除去〕	〔バグフィルター 連続除去〕	〔電気集じん機 連続除去〕
③ 湿式スクラパー	2025年 6月 3日 ～ 6月 8日	2025年 9月 22日 ～ 10月 1日	2025年 10月 20日 ～ 10月 22日	2025年 7月28日 ～ 8月 1日	設備無し

* 記載した年月日は、冷却設備、湿式スクラパーに堆積したばいじんを除去した日を示しています。

(4)ばい煙濃度

①硫黄酸化物(K値)

最大値		0.08	0.05	0.13	0.07	1.39
平均値		0.02	0.02	0.02	0.00	0.47
(排出基準)		(6以下)	(6以下)	(6以下)	(6以下)	(11.5以下)

②窒素酸化物(濃度)

最大値	(ppm)	153	153	182	142	220
平均値	(ppm)	131	124	151	120	127
(排出基準)	(ppm)	(300以下)	(300以下)	(250以下)	(250以下)	(250以下)

③排ガスの採取日

連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定
------	------	------	------	------	------

④排ガスを採取した位置

別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
-----	-----	-----	-----	-----

⑤測定結果が得られた日

2026年2月1日	2026年2月1日	2026年2月1日	2026年2月1日	2026年2月1日
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

* 硫黄酸化物(K値)は、連続測定している硫黄酸化物濃度の1時間平均値の月間最大値と平均値から算出した数値です。K値に単位はありません。
K値は、硫黄酸化物排出量を有効煙突高さの2乗で割った値で、排出基準として大気汚染防止法で定められた数値です。
硫黄酸化物排出量は、地域別に定められたK値で規制されており、K値が小さいほど規制が厳しくなります。

(5)ばいじん濃度

①ばいじん濃度

(g/m ³ N)	0.006	0.007	0.013	0.005	0.005未満
(排出基準)	(0.08以下)	(0.08以下)	(0.08以下)	(0.3以下)	(0.3以下)

②排ガスの採取日

2025年12月16日	2025年12月16日	2025年12月23日	2025年12月24日	2025年12月12日
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

③排ガスを採取した位置

別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
-----	-----	-----	-----	-----

④測定結果が得られた日

2025年12月18日	2025年12月18日	2026年1月5日	2026年1月5日	2025年12月25日
-------------	-------------	-----------	-----------	-------------

* ばいじん濃度は、2ヶ月に1回測定します。記載の数値は最新のデータです。また、採取日から測定結果が得られる日まで、最大で約3週間かかります。

(6)塩化水素濃度

①塩化水素濃度

(mg/m ³ N)	0.6	1.1	2.0	0.9	35
(排出基準)	(700以下)	(700以下)	(700以下)	(700以下)	(700以下)

②排ガスの採取日

2026年1月7日	2026年1月7日	2026年1月7日	2026年1月7日	2025年12月12日
-----------	-----------	-----------	-----------	-------------

③排ガスを採取した位置

別図1	別図1	別図1	別図2	別図3
-----	-----	-----	-----	-----

④測定結果が得られた日

2026年1月27日	2026年1月27日	2026年1月27日	2026年1月27日	2025年12月25日
------------	------------	------------	------------	-------------

* 塩化水素濃度は、2ヶ月に1回測定します。記載の数値は最新のデータです。また、採取日から測定結果が得られる日まで、最大で約3週間かかります。